

令和8年5月27日

東京都歴史教育研究会会員 各位

東京都歴史教育研究会会長 三藤 政義
(前東京都立向丘高等学校長)
東京都歴史教育研究会講演委員長 鈴木 祐至
(東京都立武蔵野北高等学校長)

令和8年度 東京都歴史教育研究会講演会の御案内

向暑の候、会員の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本研究会の活動に御協力御支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり開催いたします。校務御多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、御出席下さいますようお願いかたがた御案内申し上げます。

記

1 日 時 令和8年6月27日(土) 午後2時30分から午後4時45分まで

2 会 場 東京都立向丘高等学校

住 所 東京都文京区1-11-18

アクセス 東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩5分、都営三田線「白山駅」徒歩7分

3 講演会

(1) 講 師 田野大輔 氏

1970年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(文学)。

甲南大学文学部教授。専門は歴史社会学、ドイツ現代史。

著書『魅惑する帝国—政治の美学化とナチズム』(名古屋大学出版会、2007年)

『愛と欲望のナチズム』(講談社学術文庫、2024年)

『ファシズムの教室—なぜ集団は暴走するのか』(朝日文庫、2025年)

『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか』(共著、岩波ブックレット、2023年)

『〈悪の凡庸さ〉を問い直す』(共編著、大槻書店、2023年) など

(2) 演 題 「歴史総合でナチスをどう扱うか?—『大衆化』『国際秩序の変化』との関連を中心に」

ナチスの宣伝や大衆動員の実態を踏まえつつ、排外主義、陰謀論、ポピュリズムなど、現代社会における民主主義の危機の問題を検討する。また、SNSの普及などによって加速する誤情報の氾濫と、それに伴う社会の分断や政治不信を歴史的な観点から位置づけつつ、「歴史総合」における『大衆化』『国際秩序の変化』に関連した多面的・多角的な視点を促す授業づくりへの示唆を提供する。

(3) 申 込 以下の申込フォームまたは右QRコードから、当日までにお申し込みください

<https://forms.office.com/r/NmZrdLp6iV>



4 その他

東京都歴史教育研究会は、東京都教育委員会研究推進団体として認定されています。

サービスの取扱いは、管理職と御相談ください。

【問合せ先】

東京都歴史教育研究会

事務局(東京都立大泉高等学校附属中学校)

事務局長 大野 健人

Kento_Oono@education.metro.tokyo.jp

電 話 03(3924)0318